

たるみ歯科通信

2020年11月号 No.119

こんにちは。歯科助手の堀です。

11月になって、朝夕は冷え込むようになりました。

寒くなると、風邪をひきやすくなります。うがい、手洗いを忘れず、これまで以上に体調管理に気をつけましょうね。

さて、今月の通信は「クレンリネス」についてお話しします。

当院では院内や器具の消毒・滅菌の徹底はもちろんですが、

クレンリネスにもスタッフ全員で取り組んでいます。

聞きなれない言葉だと思いますが、

歯科医院ではとても大切な考え方なんです！



「クレンリネス」とは？

皆さんもご家庭でお掃除をされていると思いますが、私たちも毎日院内を清掃しています。でも清掃が終わった時だけ医院がきれいというのではあまり意味がありません。もちろんきれいにするのも大事ですが、**最も大切なことは「院内がきれいな状態を保つこと」**です。

「クレンリネス」とは「清潔さ」を意味し、
「清掃をしてきれいになった状態を保つこと」をいいます。

私たちは皆さんに気持ち良く来院していただくために、目に見えるところはもちろん、目の届かないところまできれいな状態を維持するように毎日しっかり清掃をしています。

クリーナーの使い分け

・滑面、壁紙などに付着した汚れ

クリーナーを使用せずにマイクロファイバークロスで濡らして拭き取ることで落とせる汚れが多いです。



・シンク周りの水垢

水垢などの水分が原因の汚れは**アルカリ性**のため、**クエン酸水**を使ってきれいに拭きあげます。ご家庭で水周りの掃除に使われるメラミンスポンジは汚れを削り落とすので滑面に細かい傷をつけてしまいます。その傷が新たな汚れの原因にもなるため、当院ではあまり使用しません。

・手垢、皮脂などの汚れ

ソファや診察台、手が触れる箇所に付着する汚れは**弱酸性**のため、**弱アルカリ性**のクリーナーで毎朝拭き掃除を行なっています。

このように汚れに応じてクリーナーを使い分けることで、清掃の効果や効率をグンとアップさせることができます♪
市販されているものばかりなのでご家庭でもやってみてください♪

「汚れはついたらすぐ落とす。その日の汚れはその日のうちに！」
を日頃から実践することで、いつもきれいな医院を保つことができます。



“清潔を保つクレンリネス”
ご家庭でも実践してみませんか？



おしらせ

院内研修のため、**20日(金)午前**は**休診**といたします。